

## 皮膚科ローテーション研修目標

皮膚科特有の疾患および全身疾患の皮膚症状の鑑別診断をおこない的確な薬物、非薬物治療ができる能力を身につける

### 経験すべき病態・疾患・検査・治療

1、的確な鑑別診断をおこなうために皮膚の構造と機能について説明できる

2、鑑別診断をおこなうために検査を指示し実施できる

一般検査法をおこなえる

皮膚科検査法（皮膚生検術を含む）をおこなえる

3、病態・疾患を経験し鑑別診断ができるようにするために

- 1) 湿疹・皮膚炎群を診察できる (B)
- 2) 蕁麻疹・痒疹・皮膚そう痒症を診察できる (B)
- 3) 紅斑症を診察できる
- 4) 紫斑病を診察できる
- 5) 血管炎を診察できる
- 6) 血行障害を診察できる
- 7) 壊疽を診察できる
- 8) 物理的および化学的障害を診察できる
- 9) 中毒疹・薬疹を診察できる
- 10) 水症および膿疱症を診察できる
- 11) 紅皮症を診察できる
- 12) 角化症を診察できる
- 13) 炎症性角化症を診察できる
- 14) 膠原病および類縁疾患を診察できる
- 15) 代謝異常による皮膚症状を診察できる
- 16) 皮膚形成異常と萎縮症を診察できる
- 17) 肉芽腫症を診察できる
- 18) 色素異常症を診察できる
- 19) 母斑を診察できる
- 20) 母斑症を診察できる
- 21) 皮膚腫瘍を診察できる
- 22) 発汗異常を診察できる
- 23) 毛包脂腺系疾患を診察できる
- 24) 毛髪疾患を診察できる
- 25) 爪甲疾患を診察できる
- 26) 細菌性疾患を診察できる (B)
- 27) ウイルス感染症を診察できる (B)
- 28) 真菌症を診察できる (B)

29) 原虫・動物性皮膚疾患を診察できる

30) 性病を診察できる

4、診断確定後に皮膚科的な治療をおこなうことができるために

全身療法を説明し実施できる

局所療法：外用療法、光線療法について説明し実施できる

皮膚外科の適応につき説明し実施できる

心臓血管外科ローテーション研修目標

心疾患、大動脈、末梢動静脈の外科的治療法を必要とする疾患を鑑別診断し、速やかに手術適応を決定し実施する能力を身につける

経験すべき病態・疾患・検査・治療

1、疾患を鑑別診断し速やかな治療法を理解するために

解剖（胸郭・心臓大血管・縦隔）について説明できる

心臓の生理について説明できる

2、病態・疾患を経験し速やかに心臓外科的治療を実施できるように

狭心症・心筋梗塞の診断ができる

弁膜症（僧帽弁、大動脈弁）の診断ができる

動脈疾患（真性動脈瘤、解離性動脈瘤）の診断ができる

末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症）静脈疾患（静脈瘤、深部静脈血栓）の診断ができる

3、診断確定後に手術治療の実施に参加できるように

手術適応の検討と手術術式の決定に参加できる

術前合併症の検索と対策がたてられる

体外循環の生理について述べ手術の実施に参加できる

体外循環の実際：大動脈送血、上下大静脈脱血、人工心肺回路の構成、心筋保護液注入による心停止

術後管理について述べ実施に参加できる

循環呼吸管理

A) 動脈圧・スワンガンツカテテルによる肺動脈圧・肺動脈楔入圧・右房圧・心拍出量を測定できる

B) 心電図モニターの判読ができる

C) SvO<sub>2</sub> 測定と判読ができる

D) 尿量測定と判断ができる

E) 人工呼吸器設定と気道内圧について判断ができる

F) 血液ガスの測定と判断ができる、

G) レントゲン所見の読影ができる

H) ドレーンの管理ができる

胸腔・縦隔内ドレーンの管理：低圧持続吸引による出血量のチェックができ・ミルクングの意義と方法をせつめいできる

I) 体液の管理ができる

輸液と利尿の関係とサードスペースへの体液の移動と血管内へ戻るタイミングがわかる

J) 循環作動薬の作用機序と使用法を説明し実施できる

カテコールアミン(ドーパミン・ドブタミン・ノルアドレナリン)、PDE 阻害剤、血管拡張剤(ジルチアゼム・シグマート・ニトログリセリン・ISDN)

K) 抗不整脈薬の使用法を説明し実施できる

L) 清潔手術・不潔手術について説明しと抗生物質の使用が実施できる

M) 術後合併症に対する処置に参加できる

救急処置の必要性を判断し実施に参加できる

A) 中心静脈ラインの挿入ができる

B) 胸腔ドレーンの挿入・胸腔穿刺に参加できる

C) 電氣的除細動が実施できる